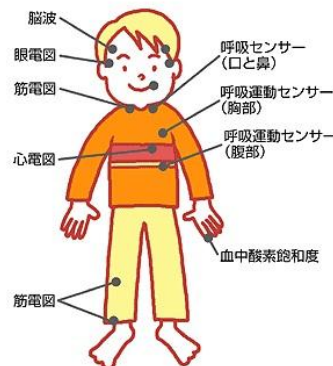


# 睡眠時無呼吸症候群（SAS）患者さんに対するPSG検査・CPAP療法について

1日の約3分の1を占める睡眠ですが、睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome:SAS）は眠っている間に呼吸が止まる病気です。SASに罹患すると日中の眠気・いびき・熟睡感がない・夜間頻尿などの症状が現れます。日本人の2~4%がSASに罹患しているといわれており、SASによる睡眠不足や低酸素は、高血圧・心疾患・糖尿病などの生活習慣病の発症と悪化に繋がるため適切な治療を行うことが大切です。当院では、耳鼻咽喉科・呼吸器内科にてPSG検査及びCPAP療法のフォローアップを行っています。

## 終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）検査って？

SASや各種の睡眠障害の診断をするために行う検査を終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）と呼びます。この検査は1泊2日入院をしていただき、様々なセンサーを取り付け、睡眠中の無呼吸（中枢性・閉塞性）や不整脈、合併症の有無について診断します。



## SASの治療～CPAP療法～

PSG検査の結果、無呼吸低呼吸指数（AHI）が1時間に20回（簡易型検査の場合：40回）以上あった場合に、CPAP療法が保険適応となります。

CPAP療法は、睡眠時に常に気道に陽圧をかけることで、睡眠中の気道の閉塞を防止します。CPAP装置と専用のマスクを使用します。日本では、20万人以上の方がこの治療を受けており、SASに対してとても有効で一般的な治療です。



大津市民病院では、CPAP装置からデータ解析を行い取得したデータをもとに診察を行っています。また臨床工学技士が機器の操作説明・フォローアップをさせていただきます。地域の先生方からご紹介いただいた患者様の中で“SAS地域連携パス”に該当する方は、パスを用いて耳鼻咽喉科・呼吸器内科との診療を連携させていただきます。

どうぞお気軽にご相談ください！

詳しくは大津市民病院 地域医療連携室

TEL 077-526-8192 FAX 077-522-0192 まで。